

も く じ

はじめに

- 第 1 章 個別の状況に応じた具体的支援について（応用編）・・・1
- わかり、自分でできるための支援
 - 感覚過敏を和らげるための支援
 - わかり、自分でできるための支援（制作活動）
 - ・顔がイメージしにくい場合の支援
 - 全体活動に参加しやすくするための支援
 - ・個別指導計画 沈黙の練習
 - コミュニケーションを円滑にするための支援
 - 切りかえの弱さを補うための支援<共に育ち合う>
 - 不安感を和らげるための支援
 - ・個別指導計画 遊びのひと工夫
 - 行事に参加するための支援
 - ・個別指導計画
 - ちょっとひと工夫
- 第 2 章 乳児期における『気になるこども』に関する気づきの観察事項
(チェックリスト) の活用について・・・15
- 個別の状況における事例より
 - 乳児支援グッズ
 - 乳児保育室の構造化
- 第 3 章 保育所内支援体制づくり～保護者と共にすすめる支援～・・・25
- 個別支援計画と個別指導計画の作成と支援の流れ
 - 計画作成と支援の流れ
 - 保護者支援の流れ（タイムスケジュール）
 - 保護者の心情理解

できた！わかった！たのしいよ！パートⅡの刊行にあたって

大阪府立大学准教授 里見恵子